

■発行・編集/宇治原町役場総務部総務課
☎ 610-0289
京都府綴喜郡宇治原町大字荒木小字西出10番地
TEL (0774) 88-2250
FAX (0774) 88-3231
■印刷/(有)新進堂印刷所 宇治市宇治妙楽9

町民の窓

Ujitawara Public Relations

●人のうごき (11月1日現在)
9,526人(-21)
男4,772人(-13) 女4,754人(-8)
出生2人 死亡8人 転入17人 転出32人
3,624世帯(+2) ()内は前月比

町長直通メール nishitani@town.ujitawara.kyoto.jp 町長直通FAX 88-2011 ホームページアドレス <http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>



目次	02	住民の代表12名がでそろう。町議会議員
	04~05	第32回 小・中学生主張大会
	06	寺子屋「うじたわら学び塾」冬季事業

●子育て支援センター移設オープン/10月27日(木)
子育てにやさしい町の更なる第一歩として保健センター隣に子育て支援センターがオープンしました。子どもがのびのびと遊べ、お母さん・お父さんが安心して見守れる場所になっています。ぜひ遊びに来てください。(本文3ページ)

宗族っていいなよ ③

結婚したらどんな生活？育児って大変そうだな。知らないから不安だけど、大変なだけじゃないよ！嬉しいこともたくさんあるよ！

岡本さんファミリー（パパ・ママ・3歳の女の子、ママは8か月の妊婦さん。黄田在住）



【町内に住むことにした理由は？】 子どもの授かったのを機に家を持とうと考えたとき、宇治田原ならのんびりして子育てに良いと思いました。実家が町内にあり、すぐ近くに建てました。お祖父ちゃん、お祖母ちゃんがそばに居てくれて、とても心強いです。

【パパとお子さんとの関わり方は？】 仕事を早く終わらせて帰ろうと努力するようになりました。平日は娘が寝てしまっからの帰宅が多いので、休日は一緒に出掛けるようにしています。抱っこ大好きな娘ですが、最近はブランコみたいに揺らしたり、アンパンマンのように空を飛んでる格好で抱っこしたりと体を使った遊びをしています。娘をお風呂に入れるのも、休日の楽しみです。

☑ 休日は、得意のバスタ料理や、娘の食事も作ってくれます。色々してくれて助かるし、とても嬉しいです。

【宇治田原で育児する中で、ここが助かるな。こんなところがあったら良いな。】 子育て支援センターに行くこと、季節に応じた行事などしてもらえ、子ども同士の交流だけでなく、ママ同士の情報交換もできて助かります。プレイルームが広がったので、のびのび遊んでいます。あとは複合遊具や芝滑りができる公園があるといいなと思います。

【いまお腹に赤ちゃんがいるママ。赤ちゃんを授かった時の気持ちは？】 本当に嬉しかったです。パパも大喜びしてくれました。娘には、早い時期に赤ちゃんがお腹にいることを伝えました。最初はよく分からないようでしたが、最近、お腹に向かって「赤ちゃん、元気？」と話しかけてくれて、感動しました。

【子どもとの関わりの中で、嬉しかったことや感動したことは？】 全て嬉しいですが、日々の成長を感じると感動します。子どもをもって自分の時間は減ったけど、明るく賑やかに、感動することがたくさんあります。

【岡本家の育児のスローガンは？】 「マイペースにのびのびと、いつも笑顔で元気に。」ですね。

岡本さん、ありがとうございます！今後も素敵な家族を紹介していきます。登場していただけるご家族募集中です。健康児童課 ☎88-6636

「民生委員・児童委員」改選

地域における 相談支援のボランティア 民生委員・児童委員

☎福祉課 ☎88-6635

民生委員・児童委員は身近な相談員です。本年は、民生委員・児童委員の一斉改選の年にあたり、12月1日付けで厚生労働大臣から委嘱される方々は次のとおりです。秘密厳守で常に住民の立場に立ち相談に応じられますので、お気軽にご相談ください。（敬称略）

- 【郷之口（高尾）】 田前 岡 岡 前 田 中 川 中 本 喜 伊 三 治 喜 三 治
- 【荒木】 桐 光 原 島 嶋 本 一 英 麻 春 豊 美 幸 良
- 【銘城台】 中山 嶋 本 本 田 川 中 喜 伊 三 治 喜 三 治
- 【南】 森 新 武 上 川 井 光 野 純 廣 八 重 子 子 子
- 【岩山】 田 阪 中 本 喜 伊 三 治 喜 三 治
- 【緑苑坂】 田 村 三 津 子 甲 廣 佐 古 村 孝 鈴 昭 子
- 【禅定寺】 中 辻 真 理 子 林 久 美
- 【立川】 奥 本 村 和 太 郎 松 本 村 三 郎
- 【湯屋谷】 西 谷 野 村 栄 美 西 谷 野 村 栄 美
- 【奥山田】 谷 上 口 辻 野 村 栄 美 谷 上 口 辻 野 村 栄 美
- 【主任児童委員】 岩 武 本 村 喜 久 美 谷 上 口 辻 野 村 栄 美

監査委員



まつもと けんじ
松本 健治
荒木 66歳①

副議長



はらだ しゅういち
原田 周一
緑苑坂 68歳③

議長



たなか おさむ
田中 修
郷之口 66歳③



たにくち しげかず
谷口 重和
南 69歳②



やまもと ただし
山本 精
岩山 64歳①



あさだ あきひろ
浅田 晃弘
湯屋谷 61歳①



ばんば はじめ
馬場 哉
郷之口 54歳①



かきうち あきひろ
垣内 秋弘
立川 71歳④



たにくち ただし
谷口 整
奥山田 62歳①



いまい しずこ
今西 久美子
郷之口 55歳⑤



やまうち みき
山内 実貴子
銘城台 52歳②



ふじもと ひで
藤本 英樹
禅定寺 51歳①

住民の代表 新体制12名出そろった

任期満了に伴う町議会議員一般選挙が11月6日（日）に行われ、住民を代表する新しい議員12名が決まりました。11月15日（火）には改選後初めての臨時会が開かれ、議長に田中修議員、副議長に谷口重和議員を選出したほか、常任委員会をはじめとする委員会構成などが決まりました。（敬称略。投票日現在の年齢、当選回数）

- 委員会等の構成
 - 委員長、○ 副委員長
- 議会運営委員会
 - 松本健治、○ 谷口重和、垣内秋弘、今西久美子、谷口整
- 総務建設常任委員会
 - 垣内秋弘、○ 松本健治、谷口重和、浅田晃弘、山本精、田中修
- 文教厚生常任委員会
 - 谷口整、○ 山内実貴子、馬場哉、原田周一、藤本英樹、今西久美子
- 広報編集委員会
 - 山内実貴子、○ 浅田晃弘、垣内秋弘、馬場哉、山本精、藤本英樹
- 城南衛生管理組合議会議員
 - 馬場哉、藤本英樹
- 京都府後期高齢者医療広域連合議会議員
 - 浅田晃弘
- 京都地方税機構議会議員
 - 原田周一



子どもや保護者が交流し、子育ての相談などができる同センターが移転オープンしました。これまでより子どもたちが遊ぶプレイルームが広がったほか、落ち着いて子育てについて相談していただけるよう、相談室を個別に設けました。また、子ども用トイレや手洗い場も設置しています。さらに、ボールプールや知育玩具などの充実も図り、親子で楽しく、ゆつくりと過ごせる施設となっています。利用方法は次のとおりとなります。

- 利用方法について**
- ・ 利用時間：午前9時～午後4時30分
 - ・ 利用料：無料
 - ・ 休館日：土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）



**子どもの素敵な笑顔が溢れる場所
地域子育て支援センター
移設オープン**

10月27日（木）、保健センター隣に地域子育て支援センターが移設オープンしました。同センターは子ども同士が自由に遊び、ママやパパそれぞれおじいちゃん・おばあちゃんが交流できる遊びの場です。お気軽にお越しください。

約8号
うじたわらの現在を届ける情報紙
広報うじたわら『町民の窓』
=地域の元気・住民の躍動を伝えます=
発行部数 3,300部
体裁 タブloid版・右綴じ
約11ページ（月により異なる）
広告募集

京都府立心身障害者福祉センター
附属リハビリテーション病院

診療科 整形外科・リハビリテーション科
神経内科・精神科・歯科
「高次脳機能障害専門外来」
診療受付時間 8:30～11:00
京都府城陽市申原 ☎0774-54-1400

- 関節リウマチ、骨粗鬆症、膝、股関節の変形などの痛みで、仕事や日常生活に支障をきたしておられる方は、ぜひ、ご来院ください。
- 病氣や事故で物覚えが悪くなり、集中力が続かず直ぐに気が散るような症状は高次脳機能障害が疑われます。いつでもご相談ください。

一緒にうれしい
On Your Side

◎ 京都中央信用金庫

みなさまのすぐとなりに
京都中央信用金庫があります。

宇治田原支店
宇治田原町後場東南250m
☎ 0774(88)4311
☎ 0774(88)4494

なが——い、おつきあい。

住宅ローン カードローン 事業融資 資産運用

京都銀行はさまざまなシーンで皆様を応援します！

飾らない銀行 宇治田原支店
京都銀行 TEL.0774(88)3737

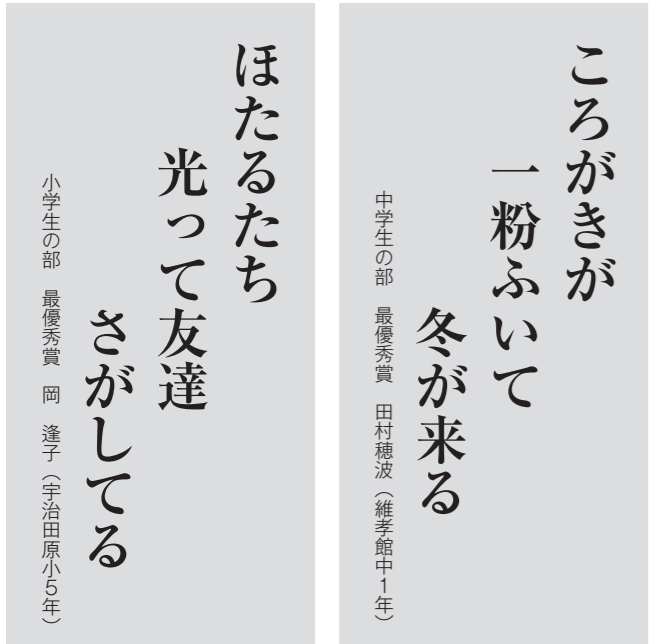
JAバンク

あなたの街の近くで便利なJAです。

お問合せは近くのJA窓口又は海外担当者へ

JA京都やましろ 宇治田原町支店 (0774) 88-2034

第3回

宇治田原ふるさと文化賞
入賞作品決定

子どもたちに、俳句をとおして郷土愛を育み、まちの再発見をしてもらおうと「宇治田原ふるさと文化賞」に取り組んでいます。「私たちの宇治田原」をテーマにした俳句を募集したところ、町内の児童・生徒581人から1,293句の応募がありました。選考委員会（委員長＝母利司朗・府立大学文学部教授）での厳正な審査により、入賞作品10句を選定しました。

■入賞者（敬称略）

【中学生の部（維孝館中）】

- ・最優秀賞 田村穂波（1年）「ころがきが一粉ふいて冬が来る」
- ・優秀賞 藤本桃華（2年）「茶畑の大海原が空をのむ」
- ・社会教育委員会委員長賞 田中 潤（2年）「闇螢舞い踊りたる夏一夜」
- ・文化協会会長賞 山内帆香（1年）「かばんの中ひかる教科書始業式」
- ・校長会会長賞 河井徳子（1年）「柿屋たち風がひんやり肌なでる」

【小学生の部】

- ・最優秀賞 岡 逢子（宇治田原小5年）
「ほたるたち光って友達さがしてる」
- ・優秀賞 西山健汰（宇治田原小5年）「桜風道具あずけてあびに行く」
- ・社会教育委員会委員長賞 西澤 梓（田原小3年）
「田原川みんなにあそばれたのしいね」
- ・文化協会会長賞 林 佐和（田原小4年）
「お茶つみでひみつのあなをみつけたよ」
- ・校長会会長賞 本田寛将（田原小5年）「秋の空天までとどく祭り声」

作品展示 ※なお、入賞作品、予選通過作品は、総合文化センター2階ロビーに展示しています。

■社会教育課 ☎88—5850

新教育委員に大嶋良孝さん



南在住。62歳。
京都工芸繊維大学工学短期大学部を卒業後、39年間宇治田原町のほか久御山町や精華町などの中学校と府立高校で教職員として勤務。平成23年4月～平成27年3月まで維孝館中学校校長を務められた。

■ 学校教育課 ☎88—5850



第32回 宇治田原町小・中学生主張大会

響け 私たちの想い



松原 日和さん
維孝館中2年

「もったいない」

あ、またご飯粒残してる。もったいないなあ。母はよく妹にそう言います。確かに、としました。世界には70億人以上の人が住んでいます。70億人全員がお米を1粒残したとすると、70億粒ものお米が捨てられることになります。それは、すごくもったいないことです。お米だけではなく、肉や魚でも、それは言えます。誰にでも好き嫌いはあるけれど、少しでも食べることができたら、捨てなければならない食材の量も減ります。牛や鳥、魚など生きているものから命をいただくことを忘れてはいけないと思います。そういうふうと考えたら、少しでも「食べてみよう」という気持ちになるのではないのでしょうか。

電気やエアコンのつけっぱなし。これももったいないです。「ちょっとコンビニ」なら、電気をつけたまま出かけてもいいのでしょうか。それは、エネルギーと電気代のムダです。特に、エネルギーをつくるには、二酸化炭素発生や、資源に限度があるなど、なんらかの問題点があります。そうして環境を汚してまでつくるエネルギーを使うエアコンを、ずっとつけっぱなしにするのはよくないと思います。そう考えると、「ちょっとコンビニ」でも、電気やエアコンを消して行くぞ、と思うようになります。

水の出っぱなしもそうです。例えば、血洗いや歯みがき中など、水を出しっぱなしにしていることはありませんか。使っている時はいいかもしれませんが、夏場、雨が降らず水不足になった時、大変なことになります。使わなければいけない時に使うのはいいけれど、使う必要のない時でも、たくさん水を使うのはよくないと思います。手を洗う時に石けんを使っている時は水を止めたり、そういう小さいことでも、みんながすれば大きいことになります。日頃からこまめに水を止めるなど、節水を心がけることは大切だと思います。

そして、近い距離でも車を使う人。これは、ガソリンのムダです。それに、二酸化炭素も排出され、地球にいいことはありません。樹木の減少も関係していますが、排気ガスによる二酸化炭素の割合増加は、地球温暖化につながります。そのことも含めると、少しでも、近い距離で車を使うのはやめよう、という気持ちになりませんか。

今まで4つ、私がかもったいない、と思うことを言ってきましたが、自分でもできていないことがあります。それは、ご飯の食べ残しです。自分の課題は、嫌いな物を全く食べない、ということです。なので、少しずつでも食べるようにします。他にも、見直さないといけない部分はあります。もっと、一人一人が考えて行動しなければいけないと思います。一人一人が考えて行動することで、地球にとっていいことができると思います。「もったいない」をなくして、未来のことを考えるべきだと、私は思います。



森本 葉月さん
維孝館中2年

私たちの宇治田原町

美しい緑の山々と澄んだ空気の心地良い、私たちの町、宇治田原町は今年2016年で町制施行60周年を迎えることを知っていますか。そんな年であるからこそ宇治田原町のすばらしいところなど様々な視点に着目し考えていきたいと思っています。

突然ですが、皆さんは宇治田原といえは何を思い浮かべますか。緑茶発祥の地として有名ですが、それだけでなく古くから親しまれ今でも伝統を守りつづけられている歴史ある「祭」があります。三社祭がよく知られていますが、特に紹介したいのが毎年お盆に奥山田で行われる「盆ぼんまつり」です。奥山田は宇治田原の中でも人が少なく、高齢化が進んでいます。会館から天神社まで、たいこをたたき、笛を吹き、鐘を鳴らしながら歩く「練り込み囃子」は江戸時代から守られてきました。しかし第二次世界大戦後は途絶えてしまったそうですが、保存会が立ち上がり長老の記憶を元に復活し今でも親しまれています。私も演奏に参加したことがあるのですが、地元の方々の他に田原小学校・宇治田原小学校の児童などいろいろな方が参加していました。地元の方だけで守っていくのではなくもっとこの祭を知る人が増え、町全体で楽しみ伝統を受け継いでいくことが必要だと思います。

ところで皆さんは宇治田原町のどんなところが好きですか。私は「地域の方と関わる機会が多いところ」です。近所の方とのあいさつや行事などの関わりが信頼関係をずっと助け合える町をつくっています。犯罪や非行の無い町にするためにはみんなで支え合うことを大切にしていきたいと思います。宇治田原町は決して人口は多くはありません。だからこそ、「思いやり」のある町なのだと思います。宇治田原町ではたくさんの方の福祉ボランティアが活動されています。夏休み期間中に町内の中学生・高校生を対象に「社会福祉体験学習」も行われていたのですが今年も参加し、私は保育所に学習しに行ってきました。忙しいこともありましたけど子ども達と関わるのがとても楽しかったです。福祉に関わる仕事はとても大変だと思います。でも入所者の方に喜んで頂けているのがとてもうれしくてボランティア活動をもっとしたいと思いました。

宇治田原町をより良くするには、まず、もっと「うじたわら」について知る必要があると思います。改めて考えてみると「うじたわら」はとてもあったかくて思いやりであふれています。通学する時間帯にボランティアで見守っていただいたり、地域の方々のおかげで安心して過ごせていると思います。また、緑茶などの特産物や伝統的な祭など昔から伝え続けられてきたことを守っていく責任が私たちにあります。町全体で昔からの伝統を楽しみ「うじたわら」の歴史を新しくつくり出してきたいと思います。



谷口 治貴さん
宇治田原小6年

地域の方々の支え

ほくはいつも地域の方々が支えてくださっているからこそ毎日学校に通ったり、安全に生活を送ることができると感じています。それは、ほくたちのまわりでたくさんの方が登下校を見守ってくださったり、ほくたちのために活動してくださっているからです。

ほくたちの毎日を振り返ってみてください。まず、登下校する時には「見守り安全パトロール隊」の方が立ってくださっています。みんなが安全に登下校できるようにはげましの言葉をかけてくださったり、不審者などから命を守ってくださったりします。しかし、パトロール隊の方があいさつなど声かけをしても返事をしない人がいます。学校でもあいさつ運動をしているようにあいさつによって人は交流することができます。いつも立ってくださっている方に感謝するという意味でもあいさつをすることは大切だと思います。

そして、学校へ来ると「学校安全監視員」の方が校内を見回ってくださり、ほくたちが安心して勉強することができるようになってくださっています。また、用務員さんが、ほくたちが掃除しきれないところまでしてくださったりしているおかげで、気持ちよく過ごすことができます。

授業では、地域の方々が宇治田原のことについて教えてくださったり、実際に体験させてくださります。そのおかげで、実際に地域の人から地域のことについて学べたり、地域の人とのつながりを深めたりすることができます。

放課後も「まなび茶ろぐ」で地域の方々の指導で学んだり、楽しんだりすることができます。

休みの日を考えてみてください。お祭りがあったり、いろいろな行事があったりします。それは、地域の方が協力して考えてくれているからです。例えば、クリーンキャンペーンです。これは、地域の人によって行われています。道に落ちていたり、ポイ捨てされているごみなどを拾ってくれています。ほくたちはその活動によって道を歩いているときに、危険な目にあわないですんだり、気持ちよく通行することができます。これは、地域のみなさんが自分たちのまちがきれいになるように、そしてみんなが過ごしやすくなるようにという思いでされています。

ほくは、そういう地域の方々の支えで生活することができると思います。毎日当たり前のように地域の方と関わっています。しかし、地域の方々がいないことを想像してみてください。今まではちがいが、不便なことがでてくると思います。

ほくは、地域の方々によって支えられていると思うことが大切だと思います。そのためには、自分から地域の方へ感謝の気持ちを伝えてみるのが大切だと思います。



松田久奈野さん
宇治田原小6年

絶滅危惧種を守るために

私達のくらす現代はたくさんの方が住んでいます。私達は食べるものもあれば、住む所もありとても幸せです。しかしその逆の思いをしている動物もこの世の中にはたくさんいます。それは、個体数が極端に減少して、確実に絶滅に向かっていくと判断される動植物群、絶滅危惧種です。日本のレッドリストには2,955種、世界を見てみるとIUCN（国際自然保護連合）のレッドリストには18,351種が記載されています。絶滅危惧種が増えている原因の一つ目は動植物の乱獲です。食料としてだけでなく毛皮やインテリアなどに利用しているからです。それを売ることが高額なお金を得ることができるからです。もしかしたらみなさんも知らずに購入しているかもしれません。二つ目の理由は外来種です。本来生息していた場所とはちがう所に人が離れてしまうのです。そうすることが、本来その川や湖に住んでいた魚たちに大きな影響を与えているのです。三つ目は人口増加です。2000年には60億人もの人が地球にいました。人々が生活する所が広がればそれだけ地球の上の林や山、海などの自然が消えていき、そして食べるものもなくなり、住む場所もなくなるのです。このことが、絶滅危惧種が増えている大きな原因となっています。四つ目は地球温暖化です。まさにこのことが動物の存在に大きな問題を与えています。寒い国に住んでいた動物たちの環境が変わり、死んでいく動物がたくさんいます。北極などでは、ぶ厚い氷がとけ、白くまやペンギンの住む場所がなくなっています。このような世界でもいのでしょうか。今は人間以外の動物たちへの影響ですがいずれは、砂漠化が進み人間自身も絶滅する時がくるのではないのでしょうか。また、人がペットとしてよく飼っている犬や猫、この動物もとてもかわいそうです。ペットショップの売れ残りは、どこにも行く場所がなくなったり病気持ちであるだけなのに、人々はその小さな犬や猫を殺処分してしまうのです。なんとおそろしいことでしょう。そんなことばかりしているわけではないですが、動物をつかまえ、そして値段をつけて売り、そして売れ残ったものは死んでしまう…。それも一つの絶滅する理由だと思います。

そんなかわいそうな動物を少しでも減らすために私達にできることは何でしょう。一つ目は自然に関心をもちそっと生き物を観察することです。二つ目は絶滅のおそれのある動物をつかまえたり、かつたりしないことです。三つ目は外来種をもちこまない（放さない）ことです。四つ目は川や海、山へ行ったりときはゴミを持ち帰ることです。これらの事を守れば、救える命があるかもしれません。

あとは、少しでも、資源を大切にしていくなにこはんなどを食べられることに感謝して残さないことです。世界中の人達で、絶滅危惧種を守りましょう。



武市 鳳華さん
田原小6年

今よりもっと

宇治田原町は、今年「町制施行60周年」をむかえます。宇治田原町には、高れいの人がたくさん住んでおられます。地域の高れいの方々には、私たち小学生は見守り隊などで、大変お世話になっています。高れい者が長生きできなくて、楽しく暮らしていけるような町になればいい。これは、高れい者の多い宇治田原町が今よりもっといい町になるための第一歩だと考えます。

以前、テレビで「減塩活動の特集」を見ました。そこで取り上げられていた地域は、日本で一番長じゅの村で有名なところでした。減塩活動とは、朝ご飯や晩ご飯のおみそ汁に塩分量を計る機械を入れて、塩分をひかえよう意識的に行動することなどです。この減塩活動を宇治田原町でも取り入れれば、たくさんの病気予防や長じゅにもつながると考えられます。高れい者を対象にだけにしてもいいのですが、町全体で取り組めば、みんなが健康に過ごせるし、よりよいのではないかと私は考えます。そしてその減塩活動で高れい者の方の家に塩分を計りに行くのが小学生だったら、高れい者と子どもが関わり合えるし、仲よくなるので、なおいいと思います。

ただ毎日子どもたちが行くのには無理があり、仲よくなってあまりいいことがないのではと思う人もいるでしょう。みなさんは、どう思われますか。私もはじめはそう思いました。でも休日はお休みにして、週に何日かだけなどに行くようにしたり、子ども何人かでグループを作り当番で行くようにしたりすれば、よいのではないかと考えました。高れい者と仲良くなることで、私たちは人生の先ばいの知恵を知ることができ、自分たちの勉強にもつながります。何より人の輪が広がります。そうすると、宇治田原町が活気にあふれて、元気になるのではないかと考えます。

さらにその活動をする私たち小学生が、減塩の大切さを今から学ぶことで、しょう来の自分たちの健康にもつながると思います。家庭科の授業で減塩メニューを考えたり、給食委員会が年に数回考える給食のここん立で減塩を意識したメニューを考えたりするのもよいのではないかと思います。

今の私にすぐにはできることは、高れい者に積極的に話しかけたりして、もっと関わりを深めたりすることだと考えます。

この宇治田原町が今よりもっと楽しく、笑顔と活気にあふれた町にするためには、高れい者の方々に、もっと生きたい！！死ぬまでここに住みたい！！と思ってもらえるような環境になればいいと思います。



奥村 宗大さん
田原小6年

平和のバトン

この宇治田原町で緑豊かな戦争のない平和な暮らしがずっと続くこと。これは未来に生きる僕達にとって一番大切な事です。ほくはこの世界を平和にしたいです。その第一歩を宇治田原から始めたいと思います。戦争は自分達には止められないと思う人もいるかもしれませんが、なぜなら戦争は政治家のような権力を持つ人が始めるからです。

確かにほく達は直接戦争は止められません。しかし戦争の怖さを伝えることはできます。テレビで戦争のようすが映っているのを見ました。すごく残酷で次々に人々が死んでいくのを見てとても恐ろしいと思いました。ほくがいま生きているのは、そんな戦争はだめだと分かってくれた人々がいてくれたからだと思います。戦争は自然も命も何もかもをうばいます。ほくがそういう事を想像できるのは昔の人が伝えてくれた記憶のおかげです。今の平和はほくらがうけついだバトンなのです。このバトンをつなぐためにはほくにはなにができるだろう。そんな事を考えながら、読んだ本の一つに「あなたが世界を変える日」という本があります。この本は1992年6月11日にブラジルで開かれた環境サミットで当時12才だったセヴァン・スズキさんのスピーチを紹介した本です。この本で最も印象に残ったのは「自分の気持ちを世界中に伝えることを、私はおそれません。」という言葉です。多くの人は自分の気持ちをすなおに大勢の人に伝えることはこわいと感じます。批判されたりするのがこわいからです。でもセヴァンさんは自分達の将来のためにその恐怖をふりはらったのだと思います。言葉は口に出さなければ誰にも伝わらないからです。

ほく達も平和が大切だということ、戦争はいけないと言う事は心の中では思っています。でもそれをあえて口に出すことはめったにありません。でもセヴァンさんの本を読んでそれではいけないと思いました。ほく達も平和の大切さをしっかりと口に出し、伝えていかなければならないのです。

ほくらは先日学習発表会で「そしてトンキーは死んだ。」という劇をしました。これは太平洋戦争で上野動物園の動物を飼育員達が殺すという物語です。ほくはこの劇が戦争のみにくさやおそろしさなどを伝えていると思います。戦争を直接知らないほく達でもこのような形で平和をうったえることはできます。この宇治田原町も戦争を経験しています。毎年7月に町内の小学生が広島へ平和と体験学習をしに行っています。ほくはまだ参加したことはありませんがこの町が戦争体験を忘れず、ずっと語りつづこうとしていることを、ほくりにします。

この宇治田原町で緑豊かな戦争のない平和な暮らしがずっと続くように平和のバトンをほく達がずっとつないでいくことが大切です。そのために戦争のおそろしさや平和の大切さをきちんとはずかしがらず声に出して伝えていきたいと思います。

寺子屋 うじたわら学び塾

冬季事業

寺子屋「うじたわら学び塾」を開講します。短い冬休みでも、一歩外に踏み出せば、新たな出会いと成長のチャンスが待っています。夏に参加した人も、初めての人も積極的に参加し、貴重な体験を積み重ねましょう！「冬のまなび」「漢字」「英語」の3つがテーマです。

漢 字			
講座名	内 容	日時・会場	備 考
漢字検定 対象：町内在住者 (年齢制限なし)	日本漢字能力検定協会 第3回団体受検 準会場を開設します。 受検が可能な級(2～10級)	平成29年1月28日(土) 【総合文化センター】	検定料は 自己負担
※小・中学生に限らず町内在住者であれば受験することができます。漢字の学習を通して家族間におけるコミュニケーションが活発になったり、資格取得の一つとして自らの励みにもなります。町内で受験できるこの機会に、ぜひ挑戦してください。			
英 語			
講座名	内 容	日時・会場	備 考
英語検定を目指して 対象：中学1・2年生	1月20日の英語検定に向けた対策講座です。 過去問題集やALT(外国語指導助手)との面接練習もを行います。	平成29年1月4日(水) ～6日(金) 午前9:30～11:30 または午後1:30～3:30 【総合文化センター】	学校を通じての申込み

「冬の学び」と「漢字」の申込み方法について

○町立小・中学校の児童及び生徒
学校を通じて、募集チラシ(申込書)を配布します。

○上記以外の方
教育委員会事務局(総合文化センター2F)、役場に募集チラシ(申込書)を備え置きます。

※募集チラシ(申込書)は町ホームページからもダウンロード可能です。

申込書に必要事項を記入し、(漢検受験は検定料を添えて)教育委員会事務局へ提出願います。

申込み期限：12月16日(金)

☎ 教育委員会事務局 ☎88-5850 F A X88-5333

冬のまなび			
講座名	内 容	日時・会場	備 考
①しめ縄教室 対象：小・中学生	しめ縄作りを体験。 日本の古くからの慣習を学びます。手作りのしめ縄で新年を迎えましょう。	12月26日(月) 午前9:30～11:30 【総合文化センター研修室2】	無 料
②競技かるた &昔あそび 対象：小・中学生	第1部 京都府立大学競技かるたによる競技かるた(百人一首)の実演を見学した後、グループに分かれて百人一首や「かるた」競技を行います。 第2部 メンコ遊びやお手玉など、祖父母世代から手ほどきを受け、昔あそびを体験します。	平成29年1月6日(金) 午後1:00～4:00 第1部 百人一首・かるた大会 第2部 昔あそび 【住民体育館アリーナ】	無 料 保護者、地域の皆様の見学、参加も歓迎
③冬の星空観察会 対象：小・中学生	冬の大三角星を始め夜空に輝く美しい星たち。天体望遠鏡などを使って観察します。宇宙についての豆知識も学びます。	12月27日(火) 午後7:00～8:00 ※雨天時は年明け1月6日(金)(同時刻)に延期 【総合文化センターロビー】に集合	無 料 時参物 ・防寒具 ・双眼鏡(所有されている方) ※夜間事業のため保護者同伴でお願いします。

総合防災訓練

大規模災害に備え

550人が参加

いつ発生するかわからない大規模災害に備え、11月20日(日)、維新館中学校グラウンドを中心に総合防災訓練を行いました。地域からは自主防災会、消防団、宇治田原分署及び町職員の

ほか町外からは、京都市消防局、陸上自衛隊大久保駐屯地、国土交通省京都国道事務所、田辺警察署、岐阜県池田町等合わせて550人が参加し、防災関係機関が連携することにより、本

町防災力の強化に繋がりました。度6強の地震による、建物倒壊等や、土砂災害が発生する危険性があるため、避難勧告を発令。荒木、岩山、立川区自主

防災会は徒歩で、高尾、奥山田区自主防災会は陸上自衛隊の移送で避難。避難した荒木自主防災会、荒木キッズ防火隊は、消火器と消火栓を使って初期消火訓練を行いました。



こちら消防分署 ☎宇治田原分署 ☎88-5500

全国统一標語
「消しましょう その火その時 その場所で」

年末を迎えるにあたり家庭や職場で火を使う機会が多くなり、また忙しさで注意力が低下するなど、火災が起こりやすい時期に火災予防の強化をおこなうため、年末火災防止運動を実施します。

実施期間 12月15日(木)～12月31日(土)

～石油ストーブの安全な取り扱い～
ストーブからの火災を防ぐために、次のことに注意しましょう。

- ①使いはじめるまえには点検を。
- ②近くに紙や衣類、カーテンなど燃えやすい物を近づけない。
- ③近くでヘアスプレーなど引火の危険があるものは使わない。
- ④ストーブの上に洗濯物を干さない。
- ⑤石油ストーブには灯油以外のものを給油しない。
- ⑥灯油を補給する時は、必ず火を消し、あふれ出ないようにする。また、給油中はその場を絶対に離れない。
- ⑦外出する時や寝る時には、必ず火が消えていることを確認する。

住宅用火災警報器は、10年を目安に交換を

住宅用火災警報器の新築住宅への設置が義務づけられて今年で丸10年になります。住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるためとても危険です。10年を目安に交換しましょう。

また、消防団と宇治田原分署の連携で、建物から逃げ遅れた住民の救出訓練を行ったほか、田辺警察署と陸上自衛隊、京都市消防局航空隊が連携し、ヘリコプターにより、ガレキ等で閉じ込められた住民の救助・搬送訓練を行いました。

最後に、災害時相互応援協定を結んでいる岐阜県池田町から救援物資を受け取りました。

訓練後の講評で、西谷町長は「実際に大災害が起きた時は、今回の訓練のように各防災関係機関との連携が重要である」と述べました。

☎総務課 ☎88-663

がんばってます！消防団 Fire Busters ☎総務課 ☎88-6631

総合防災訓練に参加!!

町総合防災訓練に消防団も参加し、大地震発生に伴う被害を想定した倒壊家屋からの救出訓練や家屋検索訓練、応急救護所への搬送訓練を実施しました。

また、消火訓練では、防火水槽を水利として模擬建物への放水を行い、本番さながらの緊張感をもった訓練が展開されました。

高校生・大学生らが まちの良さについて語り合う 『フリートーク』を開催

去る11月19日(土)、宇治田原ふるさと文化賞表彰式、小・中学生主張大会に続き、「フリートーク」が開催されました。小・中学生の主張が続いて、高校・大学生、子育て世代、孫育て世代の各代表ら5人が、本町の伝えたい、残していきたい「良さ」について、それぞれの立場から語りました。

大学生の青山里紗子さんが進行する中、高校生代表の野阪空さんが「友だちに知られていない町」のPRに努力していると語り、子育てママ代表の竹岡直美さんは、「地域力や絆が息づいている子育て」の良さを体験から話されました。

また、町外で生活し、町内に事業所を置き活動している、2児の父でもある松元勝司さんは、「都市部は人工的な四季だが、このまちには豊かな自然が季節の移り変わりを教えてくれる」と、「創業の地・第2のふるさと」への思いを語りました。

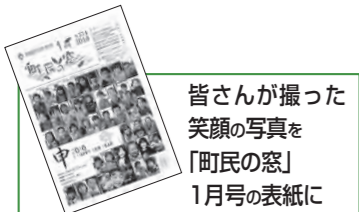
孫育て世代代表の西谷信夫町長は、「田舎の良さ、人の温かさが残っておりホッとする」と語り、子どもたちの「伝統行事への参加」の必要性を訴えました。

「自然」や「伝統文化」がキーワードとなり進行される中、コメディーター役の大学生・青山さんが上手くまとめ、笑い声のなか幕が閉じられました。

☎総務課 ☎88-6631

▲左から。大学生代表青山さん。高校生代表野阪さん、子育てママ代表竹岡さん

▲左から。子育てパパ代表松元さん、孫育て世代代表西谷町長



皆さんが撮った笑顔の写真を「町民の窓」1月号の表紙に

新年号(次号)の表紙を飾る笑顔の写真を募集します。

●応募締切

12月12日

●応募方法

写真データと、「1月表紙写真」と明記し、投稿者の氏名、年齢、住所、町や「町民の窓」への一言を添えて、Eメール(info@town.ujitawara.kyoto.jp)

●連絡先 ☎88-6631



写真例 1枚に被写体は1人、縦長をお願いします。

給付額 3万円(1回限り) ※高齢者向け給付金の受給者は対象外

① 視覚障がい ①・②級 ② 下肢、体幹機能障がい ①・②級 ③ 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、免疫、肝臓機能障がい ①級

④ 建設環境課 ☎88-6639

社協通信 第19回「聞こえのサロン」ご案内 聞こえに不便を感じている方(身体障害者手帳を持っていない方もOK)の交流のひととき。...

対象 平成28年1月1日時点で本町に住居票があり、平成28年度の住民税(均等割)が課税されていない方

対象となる方で平成28年度(薄緑色、平成29年3月末まで)の利用券申請がまだの場合は、印鑑、手帳を持ってお越しください。

飼いは必ず登録を 飼い犬が行方不明になり、保護されたとき、鑑札がついていれば飼い主が判明し、早く手元に戻ります。

第56回 一人親家庭のついで レクリエーションを通じて、親子のふれあいと一人親家庭相互の交流を深めましょう!

暮らしの INFORMATION 情報

☎=問合せ先 申=申込先

12月 日 月 火 水 木 金 土 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

高齢者インフルエンザ予防接種

11月1日から高齢者インフルエンザ予防接種を実施しています。

お知らせ

日常生活保護、非課税世帯 ② 町外の医療機関で接種する方

共同募金事業の一環として、毎年12月に行われているこの運動。...

② 療育手帳 A 透析を受けている方(障がい等級不問)

食改の窓 No.189 「白菜と豚肉と椎茸の中華煮」 白菜は免疫力を高めるビタミンCが豊富です。

食改の窓 No.189 「白菜と豚肉と椎茸の中華煮」 作り方 1 白菜は3~4cmの長さに繊維に沿って細切りにし、春雨はお湯で戻し食べやすい長さに切り水気を切る。

子育て通信

園地子育て支援センター ☎88-6622・FAX88-3104

対象者 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

対象 まいまい赤ちゃんネン広場 妊婦さんから7ヶ月くらいまでの親子

子育て支援センター 子育てサークル活動日 ママ'sアクション 6日(火)・13日(火) 10:30~みんなの家

健康のお便り

そのおう吐・下痢、ノロウイルスでは?

毎年11月頃から翌年の4月にかけて、ノロウイルスの感染を原因とするウイルス性のおう吐・下痢症が流行します。

① 感染者のノロウイルスが含まれるふん便や吐ぶつから人の手などを介して二次的に感染

② 家庭や共同生活施設など人同士の接触する機会の多いところで人から人へ飛沫感染

③ 食品取扱者(家庭で調理を行う者などが含まれる)が感染しており、その者を介して汚染した食品から

④ 汚染された二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べたとき

⑤ ノロウイルスに汚染された井戸水や簡易水道を消毒不十分で摂取したとき

要チェック!

最も重要な予防方法は手洗いです。帰宅時、調理前、配膳前、食事前、排泄後には家族全員が流水・石けんによる手洗いをしましょう。

子育て支援センター 子育てサービス利用支援窓口 平日8:30~17:15 月曜日~金曜日のうち週4日

Health center 園 保健センター ☎88-6636

健康のお便り そのおう吐・下痢、ノロウイルスでは?

どうやって感染する? ① 感染者のノロウイルスが含まれるふん便や吐ぶつから人の手などを介して二次的に感染

② 家庭や共同生活施設など人同士の接触する機会の多いところで人から人へ飛沫感染

③ 食品取扱者(家庭で調理を行う者などが含まれる)が感染しており、その者を介して汚染した食品から

④ 汚染された二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べたとき

⑤ ノロウイルスに汚染された井戸水や簡易水道を消毒不十分で摂取したとき

どんな症状になる? 潜伏期間は24~48時間で、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、腹痛です。

要チェック! 最も重要な予防方法は手洗いです。帰宅時、調理前、配膳前、食事前、排泄後には家族全員が流水・石けんによる手洗いをしましょう。

予防するには ① 調理と配膳に関して 調理の前と後で流水・石けん(液体せっけんが推奨されます)で手洗いをしっかりと行いましょう。

今月の 保健・予防案内 幼児後期健康相談 [対象] 生後8か月~10か月

今月の 元気はつらつ!若返り塾 おやしエクササイズ(総合文化センター)

今月の 元気はつらつ!若返り塾 おやしエクササイズ(総合文化センター)

今月の 元気はつらつ!若返り塾 おやしエクササイズ(総合文化センター)

今月の 元気はつらつ!若返り塾 おやしエクササイズ(総合文化センター)

今月の 元気はつらつ!若返り塾 おやしエクササイズ(総合文化センター)

今月の 元気はつらつ!若返り塾 おやしエクササイズ(総合文化センター)

今月の 元気はつらつ!若返り塾 おやしエクササイズ(総合文化センター)

今月の 元気はつらつ!若返り塾 おやしエクササイズ(総合文化センター)

今月の 元気はつらつ!若返り塾 おやしエクササイズ(総合文化センター)

まちかどほっとナウ

Ujitawara Town Topics

秋晴れの下 大賑わいの商工祭

今年で31回目を迎える商工祭が住民グラウンドで行われ、町内外から約3,000人が来場しました。グラウンドの中心に設けられたステージ上では、うぐいす宇治田原幼稚園によるかわいいマーチングバンドが披露された他、チアダンスやジャズ演奏で会場を沸かせていました。また、ステージの周りには30ものブースが設置され、長蛇の列も見られるなど、今年も賑やかな商工祭となりました。



日本緑茶発祥の地 宇治田原町存在感を示す

第69回関西茶業振興大会京都府大会が宇治市・宇治茶会館で開かれ、今年の関西茶品評会かぶせ茶の部で農林水産大臣賞を受賞された勝谷健士さんほか上位入賞者並びに、産地賞を受賞した宇治田原町が表彰されました。



11/12

下水道・町設置浄化槽の 使用人数に変更があれば届出

公共下水道や町設置浄化槽を使用している方は、使用人数に変更があれば届け出て下さい。

水道水以外の井戸水などを使用している方は、料金が使用人数によって変わります。

町設置浄化槽(☎88・3337)

水道管にも冬支度 破裂・凍結に備えを

冬になると水道の水が凍ったり、水道管が破裂することがあります。起りやすいのは、①むき出しになった水道管②北向きにある水道管③風当たりが強いところにある水道管です。凍結、破裂しないよう、水道管や蛇口部分に保温材などを巻き付けてください。

古い毛布や布きれなどを巻き付け、その上からビニールテープを巻くと、手軽にできます。メーターボックスには、布や発泡スチロールを入れたビニール袋を詰めるなど保温してください。もし水道管が破裂したら、止水栓(水道メーター横のコック)を閉めて、破裂部分に布やテープを巻き付けて応急対処。指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

雑草の抑制や水分保持に効果があり、マルチング材や肥料材料として家庭菜園などにご利用いただいています。

【地域住民向け】
対象者 城南衛生管理組合管内に在勤・在住している方
配布期間 12月12日(月)～16日(金) 午前9時～午後4時
※正午～午後1時除く
配布場所 ①旧奥山リユースセンター

給水装置工事業者の追加指定

町指定給水装置工事業者(水道工事)
▼ロイヤルホームセンター株式会社(向日市・☎0120・000・6186)
▼上下水道課(☎88・3337)

剪定チップ化物の無料配布

雑草の抑制や水分保持に効果があり、マルチング材や肥料材料として家庭菜園などにご利用いただいています。

【地域住民向け】
対象者 城南衛生管理組合管内に在勤・在住している方
配布期間 12月12日(月)～16日(金) 午前9時～午後4時
※正午～午後1時除く
配布場所 ①旧奥山リユースセンター

「ごみの出し方ハンドブック」 にも掲載されています。

町内に在住し、高校等に通学している生徒の保護者に、通学費を補助しています。昨年度から、定期券で通学している方の補助率を引き上げています。

高校通学費補助 定期の写しを忘れず

来年度3月の申請の際、ご使用の「通学定期の写し(各学期・月分)」が必要です。定期の写しがないと、その間の補助率は低くなります。申請方法は、本紙2月号でお知らせします。

町立学校教育課(☎88・5850)

中小企業の皆さんへ 保証料・利子の補給制度

「京都府中小企業融資制度」と「日本政策金融公庫融資制度」のうち、対象制度を利用の場合、保証料と利子の一部を補給します。

対象融資制度
▼京都府中小企業融資制度
・小規模企業おうえん資金
・あんしん借換資金(緊急枠)

対象者 平成28年中に利用した方(年2回以上融資を受けた場合はいずれか1回)
申請期限 平成29年2月末
(利子補給制度)

対象融資制度
▼京都府中小企業融資制度

対象者 平成28年中に利用した方(年2回以上融資を受けた場合はいずれか1回)
申請期限 平成29年2月末
(利子補給制度)

講座

食育体験教室「クリスマスメニューを作ろう」

ご家庭でお子様と簡単に作れる料理のポイントをお伝えします。

・クリスマスバリエーション
・スイーツプレート
日時 12月10日(土) 午前10時～午後1時30分

場所 維孝館中学校調理室
対象 住民で小学生親子15組

参加費 200円(1人分)
持ち物 エプロン・三角巾・タオル・上靴・参加費

申込期間 12月2日(金)まで(先着順)
町立健康教育課(☎88・6636)

町立健康教育課(☎88・6636)

町立健康教育課(☎88・6636)

町立健康教育課(☎88・6636)

子ども食育教室「郷土特産のお茶の味と香りを 楽しもう」

小規模事業者経営改善資金(略称)金
▼日本政策金融公庫融資制度

対象者 平成27年中に利用し、支払利子が発生した方(年2回以上融資を受けた場合はいずれか1回)

申請期限 平成29年1月末

※両制度とも、町税の滞納がないなどの交付要件あり。保証協会等の情報提供で、交付対象の可能性

がある町が把握した方には別途、通知

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

11/12

事業ごみは事業所で処理を

家庭から出されるごみは家庭系一般廃棄物として町で収集しますが、事業所(工場、店舗、事務所、農畜産業等)から出されるごみは事業系一般廃棄物または産業廃棄物となり、町では収集できません。家庭のごみを出すごみ収集ステーションに事業ごみの疑いのあるものが出されると違反シールを貼る場合があります。

事業所から発生するごみは事業所で適切に処理してください。

ごみの区分については

子ども食育教室「郷土特産のお茶の味と香りを 楽しもう」

小規模事業者経営改善資金(略称)金
▼日本政策金融公庫融資制度

対象者 平成27年中に利用し、支払利子が発生した方(年2回以上融資を受けた場合はいずれか1回)

申請期限 平成29年1月末

※両制度とも、町税の滞納がないなどの交付要件あり。保証協会等の情報提供で、交付対象の可能性

がある町が把握した方には別途、通知

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

町立産業観光課(☎88・6638)

モニター通信

やまナリエ

今年も奥山田考房が主催で11月23日(水・祝)より、イルミネーション「やまナリエ」を年末まで開催しています。

毎年点灯式があり、今年も点灯式では名物である大巻き寿司やとん汁のお接待、ハンドベルやハーモニカの演奏会が行われました。

場所は国道307号線沿いにある奥山田会館に電飾をしていますので、トンネル2つを抜けて夜道を走っていますと、突如きれいな光が見えてきます。暗いからこそ際立つイルミネーションの光は、寒い冬と私たちの心を温めてくれるような印象を持ちます。合わせて自然のイルミネーションでもある、星空も天気が

良ければ見えます。イルミネーションの起源は、16世紀頃ドイツのルターが森の中に美しく輝く夜空の星を見て感動し、それを子どもたちにも伝えるためにモミの木にロウソクを飾り、星空を再現しようとしたのが始まりと言われています。そして、それを描いた絵画によって広く普及したと言われています。「やまナリエ」も自然豊かな山の中、星空と共に、寒い冬に夜道を照らす灯りとなって、皆様にも少しでも温もりを感じていただきたいです。奥山田会館の裏には広い駐車場がありますので車を停めて、ゆっくりと写真を撮れるのも魅力の一つです。絵画による普及ならぬ、写真での普及にも期待です。

また奥山田会館では、毎月第2日曜日10時～11時まで、大巻き寿司や山菜おこわ、よもぎもちなどの地域販売をしておりますので、ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。

広報モニター
久野村大寛さん(奥山田)

相談

くらしとごとの相談 まずはお電話を

府内の各保健所に設置されている「くらしとごとの相談窓口」では、失業や生活で困っている方の解決方法を専門員が継続して相談支援します。(お金の貸

おめでとうございます

平成28年秋の叙勲 旭日双光章
地方自治功労 下岡 周之さん
平成28年秋の褒章 黄綬褒章
業務精励 上林 昌三さん
第19回京都府生しいたけ品評会
京都府知事賞 中辻 政隆さん
京都府農林水産業功労者表彰
京都府若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰

京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰

京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰
京都若手農林漁業者表彰

町立図書館 ☎88-5852

読んでみたい この一冊



「語ってあげてよ! 子どもたちに」
マーガレット・リット・マクドナルド著

この本は、子どもたちに、お話を語るための案内書です。子どもたちにお話は語ってゆくことは、感情や想像力を豊かにするだけでなく、何よりも親子で心を通わせることができます。きっとそのお話たちは、家族の歴史の大切な1ページになるでしょう。

おやすみの前などに是非、子どもたちとお話を語る時間を持つてみませんか?

今月の予定

休館日 6・13・20・27日(火曜日)
26日(月・振替休館)
28日(水)～1月4日(水)
(年末年始)

※今月の「絵本のじかん」交流会はありません。

お知らせ

図書館からのお知らせ
●クリスマスおはなし会
今年も恒例のクリスマスおはなし会を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 12月11日(日)
午前11時～正午
場所 総合文化センター研修室1
内容 ●大型絵本
●大型紙芝居
●手あそび
その他楽しい内容を予定しています。

お知らせ

年末年始のごみ・し尿収集

ごみ収集

■建設環境課 ☎88-6639

【年末の収集】 12月28日(水)まで通常通り

【特別収集】

地区	12月29日(木)	12月30日(金)
A地区 岩山、禅定寺、 立川、湯屋谷、 荒木、奥山田	燃やすごみ	プラマーク容器 包装物
B地区 高尾、郷之口、 賢田、銘城台、 南、緑苑坂	プラマーク容器 包装物	燃やすごみ

【年始の収集】 1月4日(水)から通常通り

○お願い

- ▷収集日以外の日にごみを出さないでください。
- ▷ごみは収集日当日の午前8時30分までに必ず出してください。
- ▷カセットボンベは、必ず使いきってから中の見える袋で、「燃やすごみの日」に「燃やすごみ」とは別の袋で出してください。また、カセットボンベと電池は別々の袋で出してください。
- ▷町で収集できないごみ(自動車・バイク部品、土砂、コンクリート、草刈機等)は、ごみステーションに出さないでください。ご不明な点は町までお問い合わせください。

○自己搬入する場合

大掃除などで家庭ごみが大量にでる場合は、城南衛生管理組合へ直接自己搬入することができます。町で自己搬入指示書の交付を受けてから城南衛生管理組合へ搬入してください。土・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後4時(正午から午後1時を除く)までです。年末は12月28日(水)まで受け付けます。ただし、町で収集できないごみは搬入できません。

し尿収集

■城南衛生管理組合業務課
☎075-631-5171

定期収集の「収集もれ」がありましたら、収集口を確認のうえ、連絡してください。

年内の収集の問い合わせは12月28日(水)午後5時15分まで。年始は1月4日(水)8時30分からです。また、臨時収集(有料)の予約は、お早目をお願いします。

宇治田原町の
新しいふるさと納税が始まります

納税に自分の意思を持たすことができる「ふるさと納税」制度。平成20年に制度が始まり、近年では、地域の特産品等をお礼の品として寄附者にプレゼントされる自治体が増えています。本町でもこの「ふるさと納税」制度を通じて、「宇治田原町のいいところを全国に発信したい」と考え、その思いからふるさと特産品の公募を行ったところ、協力をいただける町内事業者が20事業者、ふるさと特産品が55品目集まりました。そんな思いの詰まったふるさと特産品による納税の受付が12月5日からスタートします。納税いただいたお金は、町で育つ未来を担う子どもたちのために、投資することとしています。

町ではこの特産品をカタログにし、12月5日から役場等での配布、町ホームページへの掲載を行います。

ふるさと宇治田原町の未来のためにふるさと納税をしてみませんか。

■企画財政課 ☎88-6632

町制施行60周年記念

第8回 人権のつどい

■総務課 ☎88-6631

日時 12月4日(日) 午後1時30分～(開場午後1時)
場所 総合文化センターさざんかホール

人権啓発講演会&ピアノ弾き語り

『さらなる一步を踏み出そう!』

立木早絵さん(シンガー・ソングライター)



撮影/吉場正和

津軽海峡縦断リレー「24時間テレビ」成功、トリアスロン完走など、全盲の少女が前例のない様々なチャレンジを行い大きな話題となる。また、「行列のできる法律相談所」番組内でピアノの弾き語り放映されて以降、講演会でもピアノの弾き語りをを行い、その素敵な歌声とピアノが人気を得ている。

内容

- ▶第1部 人権標語入選者表彰式 第2部 人権啓発講演会&ピアノ弾き語り
- ▶行政相談・人権相談 [研修室2] 午後1時30分～4時
相談員: 行政相談委員・人権擁護委員
- ▶人権啓発パネル展・人権標語展 [ギャラリー] 11月30日(水)～12月5日(日)

くとうてん

宇治田原も一気にも冬が訪れ朝晩と寒さが厳しい今日この頃となりました。

そんな寒い季節には、温かいものが一番です。私のおススメは、なんといってもお鍋です。お鍋の中に豚肉や白菜、長ネギ、白滝、豆腐、そして宇治田原町特産品のみず菜、しいたけをいれて煮込むと体の芯から温まるお鍋の完成です。また、食後には温かい宇治茶を飲みながら古老柿を食べると心も体もホッコリします。(H)

わが家のアイドル。



きはら こうすけ
木原 宏介ちゃん(2歳9ヶ月)

「お兄ちゃんになって大変なことや我慢することも多いけど、楽しく頑張ろう!!」



いとう けいと
糸谷 圭翔ちゃん(10ヶ月)

「毎日、たくさん笑って元気に育つてね。」



こが ゆりあ
古賀 友璃愛ちゃん(8ヶ月)

「生まれてきてくれて ありがとう。」

■投稿募集▶元気のヒケツ(80歳以上)「写真」に、「氏名(ふりがな)」、「年齢」、「元気の秘訣(50文字以内)」、「電話番号」を添えて、郵便かEメール。ご希望があれば、広報担当者が写真撮影に伺います。▶わが家のアイドル(乳幼児)写真と、子どもの「氏名(ふりがな)」、「年齢(〇歳〇か月)」、「メッセージ(25字以内)」をお送りください。■投稿先 総務課広報 ☎88-6631 ☎610-0289(住所記入不要) Eメール info@town.ujitawara.kyoto.jp